

上 田 勉

◇新年明けましておめでとうございます。今年こそ世界・日本そして私達にとって良い年でありますように！！

東日本大震災・福島第一原発事故から 11 年目、コロナ禍から 3 年目の新春を迎えて

東日本大震災・福島第一原発事故（以下「大震災・原発事故」という）やコロナ禍は、私達の生活にも大きな影響をもたらしました。しかしそのような中で、大震災・原発事故では多くのボランティアが、被災地に駆けつけました。コロナ禍でも、生活困窮者への炊き出し等で多くのボランティアが活動しています。私は今こそ日本は、「連帯・絆」の社会に変わる・変わらなければならない、と思います。

「差別と排除」の戦争勢力」か「連帯と絆」の平和勢力」かー日本の選択の年に

しかし、昨年 10 月 30 日に行われた衆議院選挙では、自民党・公明党・維新の会や連合の一部幹部の「いわゆる日本を戦争にできる国にする勢力（以下「戦争したい勢力」という）」が一緒になって、「野党共闘・市民連合・日本共産党（以下「平和勢力」という）」に対して総攻撃をかけました。私は戦後生まれですが、このような戦争したい勢力は、正に戦前の大政翼賛会に似ていると思います。（大政翼賛会：戦争を遂行するために、天皇制・軍隊・政府・政党・財界・労働組合・文化団体・マスメディア等が会に参加して、戦争に反対した共産主義者・民主主義者・自由主義者等を弾圧した）

今年こそ、「連帯と絆」の平和勢力」か「対立と排除」の戦争したい勢力」の日本にするのか、私達にとっての選択の年になるのではないのでしょうか？

日本にとっての 2 つの課題

第一は、財政赤字です。安倍・菅・岸田政権で、日本の財政赤字は 1,166 兆円を超えました（GDP の 2.2 倍）。国民一人当たり 927 万円（子供含む）です。コロナ禍で各国共に財政支出を拡大しました。しかし、財政の収支均衡を基本とする欧米諸国の多くは、歳出を増大すれば、富裕税等を新設して歳入も増大しています。赤字国債に頼って、放漫な財政経営をしているのは、日本だけです。正に「我が亡き後に洪水は来たれ（自分さえよければ後はどうなってもよい。）（カール・マルクス))」です。中国の恒大集団の破綻等によって、万が一世界同時不況になって、日本の国債や株式が暴落すれば、日本銀行は債務超過になって金融破綻、日本政府も国債を償還できなくなって財政破綻に陥ります。

第二は地震・津波・原発事故等の災害です。2014 年政府の地質調査委員会は、マグニチュード 7 以上の地震が起こる確率は、首都直下型地震と南海トラフ地震では、向こう 30 年間（残りは後 23 年間）で 70%の確率だと報告しました。これらの地震の被害想定は、東日本大震災の被害を大幅に上回ります。東日本大震災の時は、日本の国力がありました。しかし、これらの地震や原発事故が起きれば、今の日本の国力では破綻するかもしれません。

世界や日本人達の運動は前進する

世界や日本で、多くの人達が立ち上がっています。香港・ミャンマー（旧ビルマ）やア

フガニスタンでも、圧政に抗議して国民が抵抗を続けています。また、核兵器禁止条約締結や地球環境問題でも、多くの若者たちが声を上げています。「地球も人類もまんざら捨てたもんじゃないな」と実感できる社会に、今年こそしたいものです。



【雪の奥会津（JR 只見線 会津水沼駅付近）】



【JR 只見線（会津川口駅⇄只見駅不通）—今年秋頃全線開通予定（会津川口駅）】